



11/11

栃木県真岡市と災害時の連携

「災害時における相互応援に関する協定」調印

市役所で、^も栃木県真岡市と本市が「災害時における相互応援に関する協定」に調印しました。これは、両市において災害が発生した場合、相互協力の友愛精神に基づき、相互に応援することを目的とするもので、応急措置等を円滑に遂行することにつながります。今回の協定は、両市の少年サッカーの交流がきっかけです。協定締結を機に両市の友好を深め、有事の際は、相互応援と連携を深める体制の構築をしていきます。



取り交わした協定書を披露（写真左から小山田市長、井田隆一真岡市長）



「高校生ボランティアガイドウォーク」の参加者は、石ヶ戸から雲井の滝間の2.8kmの散策を満喫していました

10/29-30

奥入瀬渓流車両規制で静かな自然を満喫

奥入瀬渓流エコロードフェスタ

奥入瀬渓流沿いの国道102号線で、車両の乗り入れ規制を行う「奥入瀬渓流エコロードフェスタ」が行われました。この規制は環境保全を目的に毎年実施されており、焼山から休屋までの区間、十和田西高生のガイドと共に歩く「高校生ボランティアガイドウォーク」など、さまざまなイベントが行われました。規制区間はシャトルバスなどが往來する程度で、紅葉が見頃を迎えた静かな渓流沿いを、大勢の観光客が思い思いに散策を楽しみました。

10/29

Happy Halloween!

中心商店街でハロウィンフェスタ

中心商店街で「ハロウィン2016 in とわだストリートフェスタ」が開催され、衣装した子どもらがハロウィンパスポートを持ちながら商店街を練り歩きました。

用意したパスポート1,370枚が完売するほどの人気を見せるハロウィン。子どもたちは友達や家族とともに、指定された各店舗で、「Trick or treat! (お菓子をくれなきゃ、いたずらするぞ)」^{トリック オア トリート}と言って、店の人からお菓子をもらい、うれしそうな表情を見せていました。



衣装コンテストには、自慢の衣装に身を包んだ45組が参加。レッドカーペットを堂々と歩きました



バイキング給食では地場産、県産の食材、食事の栄養バランスを学習します。

10/17

ヒメマスが初めて登場

バイキング給食に十和田湖ひめマス

沢田小学校（蛭名俊一校長）で行ったバイキング給食に、献立で初めて十和田湖ひめマスが提供されました。

地場産や県産食材の野菜などの食材をふんだんに取り入れたバイキング給食は、主食、主菜、副菜、果物とも栄養バランスが取れた料理です。この日は十和田湖ひめマスフライを含めて18品目が提供され、全校児童68人が給食を満喫しました。原朔太郎君（2年）は「ひめマスフライは柔らかくて食べやすいです」と笑顔で話しました。